

◇ E S C O（エネルギーサービスカンパニー）事業による導入設備の運転管理の概要

E S C O事業の成否は事業開始後の運用によって大きく左右されます。
本E S C O事業ではコージェネレーションシステムや高効率熱源機器の導入・搬送動力の低減などを中心として複数の省エネルギー項目があります。
本章では各省エネルギー項目ごとの運転管理と維持管理要領についてまとめます。

本館	新館	省エネルギー項目		目的
○		A-1	コージェネレーションの導入	・自家発電による商用電力使用量の低減 ・自家発電による商用電力のピークカット ・排熱利用による省エネルギー
○		A-2	排熱投入型吸収冷温水機（ジェネリンク）の導入	C G Sからの排熱利用により冷房時のガス使用量の削減
○		A-3	高効率水冷インバータスクリーチャーの導入	高効率運転により冷房時の電力使用量の削減
○		A-4	小型貫流ボイラの導入	高効率運転によりガス使用量の削減
	○	A-5	既設灯油焚吸収冷温水機へのガスバーナー導入	天然ガスへの切替によりC O 2等の発生量を削減する。
	○	A-6	既設灯油焚貫流ボイラへのガスバーナー導入	天然ガスへの切替によりC O 2等の発生量を削減する。
○		A-7	本館C G S設備の導入と熱源設備の導入	熱交換器によりガス使用量の削減
○	○	B-1	各種ポンプの変流量制御	開度を絞っているバルブを全開とし、新設INVによりポンプの出力を適切なレベルに下げ電力消費量を削減
○	○	B-2	外調機・空調機の高効率制御	C O 2濃度を適切な値に保ちながら外調機ファンは新設INVにより、空調機はダンパの開度調整により風量を削減し、電力使用量を削減する。
○	○	B-3	パッケージ空調機のダンパ調整	ダンパの開度調整により電力使用量を削減する。
○	○	B-4	本館熱源機械室換気設備の高効率化	熱源機械室の換気風量を適正に絞り換気ファンでの電力使用量を削減する。
○		B-5	冷暖フリー空調機（P A F M A C）の導入	電話交換機室をエネルギー消費量を抑制しつつ個別空調可能とする。
○	○	C-1	蒸気バルブ断熱による熱損失の低減	保温強化によりボイラでのガス消費量を削減
○	○	C-2	誘導灯の高効率化	高輝度誘導灯に交換することで電力消費量を削減
○		C-3	湧水の本館冷却塔補給水への活用	湧水を冷却水利用することで水道使用量を削減